

- ☑ドライバーに現在地を知らせる『交差点名標識※1』は、設置から15年程度で文字が消える・剥がれるといった耐用年数※2を迎えます。
- ☑枚数が多く、1枚の交換に25万円を要することもあり、メンテナンスの大きな負担となっています。

限られた予算で持続可能なメンテナンス手法が不可欠です。

兵庫県では初、明石管内をモデルとして、選択と集中による“最適化”の取組にチャレンジします！

※1)正式の呼称：主要地点案内標識
※2)耐用年数：現場実態やメーカー資料を基に設定

1 枚数の最適化 間引き撤去

- (1) 交差道路の規模等から撤去可能な条件を設定
- (2) 明石管内の交差点名標識全383枚のうち、条件に合致した計103枚を令和8年度までに段階的に撤去
- (3) 撤去(枚数の減量)によって削減できるメンテナンス費用は、他の標識等の適正管理に充当します。

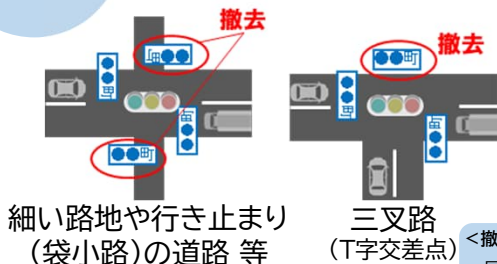
現状

383枚

間引き撤去
(令和7～8年度)

103枚

標識が示す情報(現在地)を必要とする交通が比較的少ない箇所



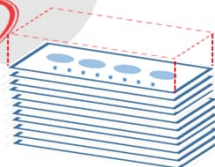
<撤去箇所の例>

国道2号 西脇口(南北側)
国道250号 明姫大久保東(北側)
県道明石高砂線 大観橋(南北側)
東二見西(北側)

間引き撤去後

280枚

3割減量
年間170万円※3のメンテナンス費に相当



※3)15年ごとに、更新(25万円/枚)すると想定(25万円/枚×15年×103枚)

2 1枚あたりのメンテナンス費用の最適化 “高コスパ”な標識板の試験施工

- (1) より安く・長持ちする”コストパフォーマンス”の高い標識を見出すための試験施工を実施
- (2) 試験施工では、材質が異なる3種の標識板を道路脇に並べて展示し、見え方や劣化スピードの違いを比較検証します。

現状

県指針では、標識に使用できる材質は1種類※に限定
1枚の交換費用は約25万円！ ※高性能な“広角プリズムシート”

道路標識の比較実験中

道路標識の効率的・経済的な維持管理をめざして、違う材質の板(反射シート)を並べて、見え方や劣化の違いを比べるための実験をしています。

現地説明看板

広角プリズムシート

✓見やすさ(反射性能)や耐久性に優れる。
✓価格が最も高い。

カプセルプリズムシート

✓見やすさ(反射性能)や耐久性に優れる。
✓価格は広角よりも安価

カプセルプリズムシート(紫外線保護剤塗布)

✓劣化の原因である紫外線から板を守るため、表面に透明の保護剤を塗布



担当・問合せ先

兵庫県 東播磨県民局 加古川土木事務所
明石街づくり対策室 明石事業第1課 電話078(912)3378